

発行日: 2021年08月17日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: コウモリ寄せつけない! 忌避剤

製品番号(SDS NO): Bat_repellent-1

製品種類:

本製品は石膏で忌避成分をペレット化したコウモリの忌避剤である。

供給者情報詳細

供給者: 株式会社SHIMADA

住所: 滋賀県東近江市下中野町1050

電話番号: 0749-46-1233

FAX: 0749-46-1235

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚感作性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 2

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
dl-カンフル	76-22-2	1 - 10	4-308;4-601
L-メントール	2216-51-5	< 1	3-2333
α-ピネン	80-56-8	1 - 5	4-593;8-497
1,8-シネオール	470-82-6	< 1	5-684
硫酸カルシウム	10034-76-1	60 - 70	1-193

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

記載なき成分は日本公表危険物質リスト(NITE 平成28年度)に該当しません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

dl-カンフル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

dl-カンフル

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

本製品は成形品であり、漏出のおそれは無い。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

注意事項

子供の手の届かないところに置くこと。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(硫酸カルシウム)

ACGIH(2005) TWA: 10mg/m³(l) (鼻の症状)

(dl-カンフル)

ACGIH(1990) TWA: 2ppm

STEL: 3ppm (眼および上気道刺激、無臭覚症)

(α -ピネン)

ACGIH(2001) TWA: 20ppm (肺炎)

注釈(症状、摂取経路など)

(α -ピネン)

皮膚感作性

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：固体(ペレット状品)

色：白色

臭い：薄荷の臭い

可燃性：不燃

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(L-メントール)

ラビット 14日で回復 (SIDS, 2004)

(α -ピネン)

ラビット 中等度の刺激性 (農薬安全情報 vol. 17, 1994)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(L-メントール)

ラビット 軽度の刺激性 (SIDS, 2004)

(dl-カンフル)

眼刺激性 (ACGIH-TLV, 2005)

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(α -ピネン) cat.1; FROSCHE, TEXTBOOK OF CONTACT DERMATITIS

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(dl-カンフル)

ACGIH-A4(1990): ヒト発がん性因子として分類できない

(α -ピネン)

ACGIH-A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(dl-カンフル) 中枢神経系 (HSDB, 2005)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(α -ピネン) 呼吸器系 (HSDB, 2009)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(硫酸カルシウム) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2006)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(L-メントール) 麻酔作用 (SIDS, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(dl-カンフル) 神経系、肝臓 (HSDB, 2005)

(α -ピネン) 呼吸器系、神経系 (ACGIH, 2003)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(L-メントール)

魚類(ゼブラフォッシュ) LC50 = 15.6 mg/L/96hr (SIDS, 2004)

(1,8-シネオール)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50 = 102 mg/L/96 hr (AQUIRE, 2011)

(dl-カンフル)

魚類(ゼブラフィッシュ) LC50 = 35mg/L/96hr (HSDB, 2005)

(α -ピネン)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=0.18mg/L/96hr (HSDB, 2009)

水生毒性(長期間) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(L-メントール)

藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*) NOEC = 9.65 mg/L/96hr (SIDS, 2004)

水溶解度

(1,8-シネオール)

0.35 g/100 ml (PHYSROP Database, 2011)

(dl-カンフル)

0.12 g/100 ml (25 C) (ICSC, 2003)

残留性・分解性

(L-メントール)

急速分解性あり (BODによる分解度:79-92% (SIDS, 2014))

生体蓄積性

(L-メントール)

log Kow=3.3 (HSDB, 2013)

(dl-カンフル)

log Kow=2.36 (PHYSROP Database, 2009)

(α -ピネン)

Log Pow=4.83 (PHYSROP Database, 2010)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

環境有害性

海洋汚染物質_長期間有害性

α -ピネン

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(X類)
 α -ピネン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

dl-カンフル

名称通知危険/有害物

dl-カンフル

有害物ばく露作業報告対象物質(平成27年対象・28年報告)

dl-カンフル

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7252/7253 (2019年)

2016 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 平成28年度)です。